

研究だより



せらにし小学校研究部
令和元年 10月16日
No.7

10月2日(水)は、第5回目の授業研究(特別支援教育研究授業)自立活動「育てた野菜で、おやつを作ろう～美味しく食べて仲間いっぱい～」がありました。授業研究を振り返るとともに、今後の方向性について確認したいと思います。

☆研究討議より

【成果】

- ・視覚化が的確に行われていた。(手順・各自の目標・材料・分担カード等)黒板に掲示するだけでなく、手元で確認できるカードも用意されていた。
- ・個別の目当てを持たせ、児童一人一人にゴールイメージを持たせていた。
- ・児童同士の支持的な関わり方が多く見られた。(ほかほか言葉にチェック)
- ・実際にやらせてみて、困った場面でどのように行動したら良いかを考えさせる場面を作っていた。

【課題】

- ・コミュニケーション力をより高めていくための授業や支援の工夫をしていく。(グループ構成・授業展開等)
- ・タブレット等を使い振り返りをさせ生活に生かしたりつなげたりするとよい。

☆広島県立庄原特別支援学校 教育相談主任 松本 和裕先生より

- ・静かな環境で児童が落ち着いて学習している。
- ・視覚的支援を行うことで、授業者が必要最小限の声かけで授業が進められていた。
- ・児童の困り感を体験し、どのような支援が必要かを見直すことが大切である。

◎「主体的な学び」を促す日頃の授業改善のポイントを再確認してみましょう。

「せらにし小学校の授業改善ポイント」

- ①児童が授業のゴールイメージをもっています。
- ②児童が、自分の考えをもち表現しようとします。
- ③児童が、授業で学んだことを表現します。

地域公開授業研究会に向けて再度確認し授業を進めていきましょう。

【今後へ向けて】

- ・児童が困っている時、どのような支援をしていくのか(視覚的支援・児童への働きかけ・発問・待つことも含めた支援等)を想定しておくこと。
- ・児童一人一人がめあてをもって学習している姿を目指していく。
- ・今日の学習について「何が分かったのか」「授業を通して何が成長したのか」「どんな力が付いたのか」「身近なことで言うと今日の学習は何か」「今までの学習と～が同じ」「新たな疑問」など、振り返りを充実させていくこと。

第5回の授業研究を受け、明日の授業から大事にしていきたいことを確認しましょう。

